

事業番号	09 05 01	事業改善シート（令和2年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	家畜衛生対策事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課家畜防疫対策室
			実施期間	S25～	E-mail	kachiku-boeki@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進					

1 事業の概要





事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】	・国際化の進展により、特定家畜伝染病が海外から侵入するリスクが高まっている。
	【目指す姿】	・家畜伝染病の発生予防及び危機管理体制の強化並びに畜産物の安全性の確保推進等により、安全な畜産物の安定供給を図る。
	【実施内容】	・防疫演習、監視伝染病等の検査・摘発、農場HACCP取得支援など

指標の状況及び目標値 [/ : 改善、\ : 悪化、→ : 変化なし]

No	成果指標	H30年度	R1年度		R2年度		目標値	達成状況	事業 コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	
			前年度繰越	10,000	131,884								
1	鳥インフルエンザモニタリング検査数(対象鶏)	100%実施	100%実施	→	100%実施	→	100%実施	達成		予算額	現計予算	530,047	182,196
2	防疫演習の実施	3回	2回	\	2回	→	1回	達成		合計(A)	540,047	314,080	
3	牛海綿状脳症検査数(対象牛)	100%実施	100%実施	→	100%実施	→	100%実施	達成		うち一般財源	251,956	86,297	
4	野生いのししの豚熱ウイルス感染確認検査頭数	—	668頭		445頭	\	720頭	未達成		決算額(B)	312,699	167,940	
										職員数(人)	58.12	63.20	

成果指標設定理由	①家畜伝染病予防法に基づき設定 ②家畜伝染病予防法に基づき設定 ③牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき設定 ④豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針に基づき設定
----------	--

達成状況の分析	①鳥インフルエンザモニタリング検査の対象鶏について、すべて実施することができた。(令和2年度、県内で高病原性鳥インフルエンザの発生はなし。) ②防疫演習を2回実施し、伝染病発生時の迅速な対応に備えた。 ③牛海綿状脳症検査の対象牛について、すべて検査を実施することができた。 ④山林等で野生いのししの目撃情報が少なく、それに伴い捕獲頭数も減少したため目標未達成となった。
---------	---

主な取組	<p>✓ 防疫演習を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 家畜伝染病の発生に備えた防疫演習を実施(2回) <p>✓ 養豚農場での豚熱対策を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 飼養豚等への豚熱ワクチンの定期接種(全農場131,212頭)及び免疫付与状況等確認検査を実施 農場バイオセキュリティ向上のための畜舎消毒用煙霧機等の設置支援(6農場) <p>✓ 野生いのししへの豚熱対策を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 経口ワクチンの散布 野生いのししの感染確認検査による監視強化 	 10地域をつないだ対策本部会議演習	 防護服着脱訓練
		 ワクチン接種	 経口ワクチン散布

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> 鳥インフルエンザ・BSE等の監視伝染病の発生の予察及び清浄性の確認のため継続的なサーベイランスの実施が求められている。 畜産農場の生産性阻害要因となっている慢性疾患等を低減するため家畜衛生の推進が求められている。 国際化の進展により、口蹄疫やアフリカ豚熱等の特定家畜伝染病が国内へ侵入するリスクが高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家畜伝染病予防法に基づく検査等を実施し、家畜の伝染性伝染病の発生予防及びまん延防止を図る。 安全安心な畜産物を県民に提供するため、生産段階での疾病対策や安全性確保のための検査・指導により、畜産物の安全性を確保していく。 飼養衛生管理基準の遵守指導、飼養豚へのワクチン接種、防護柵等の設置支援による農場バイオセキュリティ向上により、侵入防止対策を徹底する。

事業番号 09 05 01 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	家畜衛生対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課家畜防疫対策室
-----	----------	----	-----	-----	--------------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
1	家畜保健衛生所運営費	27,918 千円	30,140 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	家畜保健衛生所運営のための経費	直接	家畜保健衛生所の適正な運営・管理を実施

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
2	家畜伝染病予防事業	25,143 千円	35,505 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	監視伝染病の発生及びまん延防止のため、農場立入検査等を実施	直接	ヨーネ病検査の申請に対し100%実施 鳥インフルエンザモニタリング検査の対象鶏について100%実施

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
3	家畜衛生対策事業	23,813 千円	24,118 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	家畜伝染性疾病に対する危機管理体制強化及び家畜の生産性向上のため、防疫演習の実施、畜産農家データベースの更新、慢性疾病等の調査を実施	直接	対象農場について、畜産農家データベースを適宜更新 アフリカ豚熱発生を想定した防疫演習を2回実施 慢性疾病等の調査を69戸実施

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
4	B S E 監視検査事業	4,926 千円	5,347 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	B S E の清浄性の維持・確認のため、96か月齢以上の死亡全頭と48か月齢以上の起立不能等特定症状のある死亡牛の B S E 検査を実施	直接	対象牛について100%検査を実施

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
5	豚熱対策事業	230,899 千円	72,830 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	飼養豚等への豚熱ワクチン接種	直接	県内全域で飼養されている豚等への定期接種（全農場延べ131,212頭）及び免疫付与状況等確認検査を実施
2	養豚農場への防鳥ネット等の設置経費に対し助成	補助金	農場バイオセキュリティ向上のため、畜舎消毒用煙霧機、防鳥ネット、飼料加熱処理装置、動力噴霧器等の設置
3	野生いのしし等への対策	直接	経口ワクチンの散布、野生いのししの感染確認検査（検査頭数445頭、陽性75頭）による監視強化